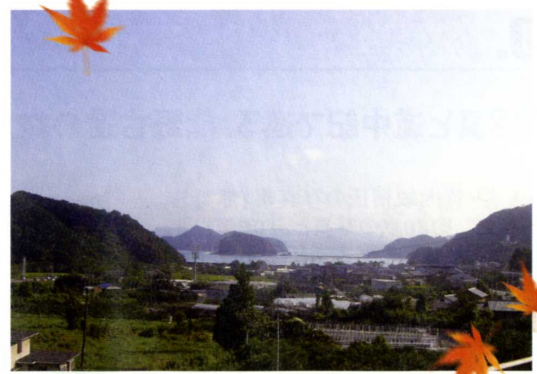


こんにちは。私は海あり、山あり、古道ありの素晴らしいこの地に生まれ、今なお生活を続けて、民宿を営み早36年、世代交代するところまできました。私の住むこの地は「古里（ふるさと）」というステキな名を持つち、ミカン畑沿いの小道を歩いていくと甘酸っぱい香り（ミカンの花）が漂い、潮騒の臭いと音に身も心も癒されます。実りの秋には畑一面で、緑の木の中に小粒のミカンがたくさんな自然豊かな古里をもっと歩いて、旅を満喫してほしいです。むかし旅人（俳人）の鈴木牧之も一石峠からの眺めから故郷を思い出し、句を読んでいます。



古里と熊野灘の風景

筆リレー  
次は津市の  
中村辰彦さん



おかし のりこ  
大西 宣子さん  
(紀北町)  
民宿 紀伊の松島

古里にロマンを求めて訪れてくださるお客様にもこの地の良さを知っていただけるように、世界遺産には登録されていませんが、昔の旅人が歩いた旧街道（古道）や自然を私と有志の方たちが守りつつ、故郷の古道として次の世代に残しておきたいと思えます。

最後に、私も女将の役割として、自ら古道を歩き、古道の素晴らしさを教えることもサービスのひとつと考え、家庭的なぬくもりのある一味違った民宿を目指し（海・山・古道・温泉あり）、熊野灘で採れる新鮮なもの、魚介類とともにロマンを求めて来る旅人を迎えたい。この気持ちを中心に置き、精一杯努め、色んな人と出会いながら素晴らしい人生を送っています。

古里や種蒔んに  
因恋し

熊野古道からの  
のがみ  
20 通目

花尻 薫からの季節のたより No.20 「茗荷を食べると物忘れをする？ 落語の話です。」

熊野古道の「茗荷の宿」に、欲の深い主人がいました。ある日その宿に、大きな風呂敷を背負い、目の丸い50歳くらいの旅の人が、「今晚一晩泊めてください」とやって来ました。大きな財布を番台に預け部屋に上がるのを見た欲深い主人は、財布を忘れさせようと、夕食と朝食にミョウガをたくさん使いました。旅人はおいしいおいしいと全部食べ、「いやはや、何ともおいしいミョウガでござった。ところで今日は何日でしたか」とたずねるので、「ほう、でえぶぎいているみたいやぞ、財布のことは忘れてしまったらしい」と主人はにんまり笑いました。朝になりお客は出掛けようとしたが、急に「昨夜お預けした貴重品を出してくれんかい」と言いました。

主人はしぶしぶ財布を渡すと、お客はあたふたと行ってしまいました。宿のおかみさんが「おめえさん、宿賃もろたっけ」と言ったので、「しまった、ミョウガが効いてしまった」と主人は血相を変えてとんでいきましたが、お客はどこにも見当たりません。ミョウガを食べると物忘れをするというのは迷信で、落語の話からでたものです。かつては身分の高い人の料理に用いられたようで、ミョウガが減るのを恐れて馬鹿になると禁止令をだしたとも言い伝えられています。そのお蔭でミョウガは庶民が食べずたくさん増えました。



**センター敷地内『夢古道おわせ』へぜひお立ち寄りください!**

**お母ちゃんのおランチバイキング**  
尾鷲・東紀州の食材をふんだんに使った、地元のお母さんの味です。

営業時間: 11:00~14:00  
料 金: 中学生以上 ...1,200円  
子供 ...700円  
乳幼児 ...無料  
60歳以上 ...1,000円

**みえ尾鷲海洋深層水「夢古道の湯」**  
深海415メートルから取水された海洋深層水のお風呂。ミネラルが豊富で保温性に優れているので、湯上り後もポカポカです。

開館時間: 10:00~21:00  
入 浴 料: 一般 ...600円  
65歳以上 ...500円  
4歳~小学生 ...300円  
4歳未満 ...無料

**お風呂あがりは、カフェでゆったり!**

営業時間: 9:00~21:00  
(ラストオーダー20:30)

**★熊野古道センターニュースレター★  
“熊野古道センターからののがみ  
2011年秋号”**

- 発行日: 2011年9月30日 (季刊)
- 編集・発行: 三重県立熊野古道センター (三重県指定管理者 NPO法人熊野古道自然・歴史・文化ネットワーク)
- 編集担当: 縣
- 連絡先: 〒519-3625 三重県尾鷲市向井字村島12-4 TEL 0597-25-2666 FAX 0597-25-2667 Mail info@kumanokodocenter.com HP http://www.kumanokodocenter.com/
- 開館時間: 午前9時~午後5時
- 入場料: 無料
- 休館日: 12月31日、1月1日 (その他メンテナンス時休館)

●お車で越しの方は...  
国道42号線で尾鷲市内→矢の浜南交差点を海側へ曲がる→突き当たりを右折→県道を海沿いにしばらく走り、案内看板を右折して到着です。(国道から約10分)

●電車で越しの方は...  
●JR尾鷲駅下車→ふれあいバス「尾鷲駅」バス停(徒歩1分)、または三重交通「尾鷲駅口」バス停(徒歩5分)乗車→「熊野古道センター前」下車  
●松阪駅→南紀特急バス「熊野古道センター」終点下車(約2時間)

6000110930TA

三重県立熊野古道センターからののがみ  
“The Letter from Mie Prefecture Kumano Kodo Center”  
2011.秋号  
通号 No.20



熊野古道センターから一番近い「八鬼山越え」の歩き方、一例をご紹介します。センター駐車場を発着にすることもできます。

1 上り口にある駐車場(トイレ付き)から、熊野古道歩きに出発!

2 「西国第一の難所」と呼ばれた八鬼山の険路に大苦戦。

3 峠をなんとか越えて、JR三木里駅から上り列車に乗車。

4 JR大曾根浦駅まで戻り、スタート地点まで歩いて約15分です。

5 ゴールは近い! 曲がり角にはしっかりと看板があります。

熊野古道へは  
どうやって行けばいい? ~古道と車とバスと鉄道~

だいたい暑さも和らぎ、山歩きにはちょうどよい季節になりました。しかし、「そうだ、熊野古道へ行こう」と思い立っても、歩くにあたり「どこから上るの?」「駐車場はあるの?」「駅から近くにあるの?」など、わからないこともあるのではないのでしょうか。

熊野古道伊勢路だけでもコースは20以上ありますが、ほとんどの峠は上り口の近くに駐車場があります。車を停めたら荷物を持って、いよいよ熊野古道へ出発しましょう。

やっと峠を越えたら麓の集落へ。車へ戻るには、バスや鉄道を利用します。例えば石畳がきれいで大人気の馬越峠(三重県紀北町~尾鷲市)では、上り口のスペースか、近くの道の駅海山が駐車可です。

峠を越えると尾鷲の町なかの旧街道を抜け、「朝日町」バス停から三重交通バスに乗れば、10分ほどで上り口の「鷲毛」バス停へ戻ります。

また車を使わない方は、鉄道やバスを利用するのはどうでしょう。馬越峠であれば、普通列車のみ停まる相賀駅から歩くか、特急も停まる尾鷲駅からバスにて「鷲毛」バス停へ...

バスでも松阪発の「南紀特急バス」が「鷲毛」に停まる、便利なアクセスの古道です。

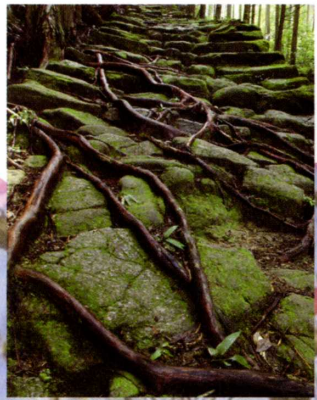
なかには、上りと異なる道を通って、スタート地点まで戻ることのできる周遊コースも。始神峠(三重県紀北町)では、頂上にて熊野古道の本線から曲がって下り道へ、また松本峠(三重県熊野市)は、越えてから峠道の下を通るトンネルを戻れば(歩道あり)、「そこは上り口だった」となります。

宿や食べ物屋さん、交通情報など、あれこれ事前に調べながらイメージするのも旅には欠かせない楽しみですが、アクセスを心配して二の足を踏む方もいらっしゃるかもしれません。しかし、周辺の駐車場も年々整備され、本数は多くありませんが、伊勢路はどのコースも公共交通機関を使って訪れることができます。熊野古道センターでもみなさんの情報収集をお手伝いしております。気軽にお問合せいただき、この秋はぜひ「熊野古道へ行こう」を実現してください(一部、台風12号の被害等により通行できない峠があります)。



# 熊野古道フォトコンテスト」にて作品を 募集中!!

熊野古道とその周辺にある“自然”や“人の暮らし”など、写真を通じて三重県東紀州地域の様々な魅力を再発見するためのフォトコンテストも、今回で5回目となりました。昨年度に引き続き、L版サイズで気軽に応募していただくことのできる“お気軽”部門を設けております。今回のテーマは“笑顔de東紀州”です。三重県東紀州からみなさんの“笑顔”や、おもわず笑みのこぼれるような風景を発信しましょう。



平成22年度とっておき部門 最優秀賞 坂本親久氏「折川への道」(熊野古道松本峠)

応募テーマ

- とっておき部門「東紀州の四季」  
風景・祭り・風物詩などを通して、三重県東紀州の魅力を表現した写真
- お気軽部門「笑顔de東紀州」  
三重県東紀州の風景や人の暮らしを題材に、おもわず微笑んでしまう写真

▶審査委員長	【とっておき部門】竹内 敏信氏 (社団法人日本写真家協会会員、熊野古道写真学校長)	
	【お気軽部門】主催者が委託した審査委員	
▶賞	【とっておき部門】	【お気軽部門】
	最優秀賞.....1点 賞金5万円	最優秀賞.....1点 記念品
	優秀賞.....2点 賞金2万円	優秀賞.....多数 記念品
	入選.....多数 記念品	



平成22年度お気軽部門最優秀賞 田岡りほ氏「夕陽を渡る人々」(熊野古道松本峠)

▶締切 平成23年12月12日(月) 当日必着  
▶応募先・問合せ 三重県立熊野古道センター フォトコンテスト係 〒519-3625 三重県尾鷲市向井12-4 TEL:0597-25-2666 FAX:0597-25-2667

\*応募は全て、東紀州地域内(三重県北町・尾鷲市・熊野市・御浜町・紀宝町)の被写体を撮影した未発表の作品に限ります。  
\*詳細な応募規定、応募票の入手は、熊野古道センターへお問合せいただくか、センターHPを御覧ください。

## 熊野古道センター 来館者50万人達成!!

去る7月23日、熊野古道センターでは、2007年2月開館から約4年5ヶ月にて来館者50万人を達成し、当日、これを記念してセレモニーが開かれました。栄えある50万人目に来館いただいたのは、三重県津市の松島さんご家族。熊野古道センターで毎週日曜日に開催している木工教室に参加しようと訪れ、突然の出来事に大変驚いた様子でしたが、「東紀州地域は海や、山がとても綺麗で熊野古道も歩いてみたい。」とのお言葉をいただきました。来館者50万人が達成できたのも、開館以来多くの皆様に支えていただいたからこそ、大変感謝しています。熊野古道センターでは、熊野古道や地域の自然、民俗がよくわかる常設展や年6回程度の企画展、松島さんがお越しいただいたような気軽に体験できるものづくり教室、熊野古道ウォークなど、東紀州の魅力を様々な形で発信し、地域も館も更に発展できるよう努力してゆきたいと思っています。



パンパカパーン、おめでとうございました。



熊野の味・めはり寿司  
大きく目を開けて食べましょう。

## お弁当持って熊野古道へ出かけよう!!

みなさんは、何を楽しみに熊野古道に出掛けますか?石畳や美林、海など景観を楽しみに訪れる方が多いかと思いますが、でも、古道歩きをもっと楽しむために忘れてはいけないのがお弁当。苦勞して登った峠から景色を眺めての食事はおいしさも倍増!最高の贅沢です。せっかく熊野古道に来たからには、1度は味わっていただきたいのが東紀州の郷土料理「めはり寿司」です。めはり寿司は、この地方で多く栽培されている高菜の漬物でご飯を包んだおにぎりです。昔は大きく握られて、口も目も大きく開けて食べる様子や、目を見張るほどにおいしいことから「めはり」と名づけられたと言われます。現在では家庭で食べられる他に、食べやすい小さいサイズのめはり寿司や高菜漬けのみで販売されるなど、地域内外で広く永く愛されています。めはり寿司を持って、自然の中でのおいしい思い出づくりに出掛けてみるのはいかがでしょうか?



## イベント情報 Event Info.

### 館蔵品展 「写真と道中記で巡る、熊野古道の旅」

日本風景写真の第一人者・竹内敏信氏の写真集『熊野古道』に収められた作品を中心に、約50点の写真と、100年以上前の旅人が残した道中記とが出会い、熊野古道伊勢路のいま・むかしの姿を紡ぎだします。熊野古道周辺の奥深い歴史と、人々を魅了する風景をお楽しみください。

日時:平成23年9月17日(土)~11月6日(日)  
午前9時~午後5時 会期中無休  
入場料:無料  
場所:企画展示室



竹内敏信氏「ハンカイソウと古道 馬越峠」



江戸時代の馬越峠頂上風景(『西国三十三所名所図会』)

### 企画展 「平成23年度熊野古道写真教室 作品展」

平成23年8月9日・10日に開催した「熊野古道写真教室 めざせ!写真甲子園」の参加者・講師による作品展です。三重県高等学校写真連盟加盟校の高校生たちおよそ80名による、熊野古道センター周辺や馬越峠、紀伊長島魚まちでの撮影会の成果をご覧いただけます。高校生の若い感性で切り取った東紀州の魅力を味わってください。

日時:平成23年11月19日(土)~12月4日(日)  
午前9時~午後5時 会期中無休  
入場料:無料  
場所:企画展示室



楠本弘児氏(講師)「木漏れ日の馬越峠石畳」



紀北町紀伊長島魚まちでの撮影会の様子

## 体験学習

熊野古道自然学校  
12/3(土)「古道沿いの地質と石畳を楽しむ」  
熊野古道センター周辺において、地質や石畳について学びながら、熊野古道を散策します。熊野古道沿いをいつもと違う視点で歩くことで、新しい古道の楽しみ方が見つかります。  
◇時間:午前10時~午後2時 \*雨天時は12月4日(日)に延期  
◇参加料:500円(保険料等を含む)  
◇定員:小学生以上 30名(要申込、先着順) \*小学生は保護者同伴  
◇場所:熊野古道センター周辺(八鬼山)  
◇講師:二村直司氏(元尾鷲小学校校長)  
◇受付:11月3日(木)午前9時~12月2日(金)午後4時

月別ひのきアート教室  
地元の特産品である尾鷲ヒノキからできる魔法の素材・ひのきシートを使ってのものづくり教室です。  
◇日時:10月23日(日) アクセサリー  
11月27日(日) クリスマス飾り  
12月18日(日) お正月飾り  
◇参加料:10・11月1,000円、12月2,000円 \*連続講座ではありません  
◇定員:各10名(要申込、先着順)  
◇場所:体験学習室  
◇講師:NPO法人海虹路会員

毎週日曜日 あなたも木工作家!その場でできる木工教室  
事前申込不要!来館してその場で気軽に体験することのできる木工教室です。メニューは、お箸・しおりなどのひのきアート、木の動物・木のおもちゃづくりなど週替わりで開催します。  
◇時間:午後1時~3時受付  
◇参加料:200円~1,500円(申込不要)  
◇場所:交流ロビー  
◇講師:NPO法人海虹路会員、(週替わり)川端一氏、大形弥生氏、畑中昇氏

## 講座・講演

10/16(日) 熊野古道自然学校「めざせ!シダ博士」  
熊野古道センター周辺において、シダ植物の観察会を開催します。今まで気づかなかったシダ植物の美しさや、それらを取り巻く自然環境について楽しみながら学びます。  
◇時間:午後1時~午後4時  
◇参加料:300円(保険料等を含む)  
◇定員:小学生以上 30名(要申込、先着順) \*小学生は保護者同伴  
◇場所:熊野古道センター周辺(村島不動滝)  
◇講師:宮本太氏(東京農業大学教授)  
◇受付:9月21日(水)午前9時~10月14日(金)午後4時



## 新しい古道の歩き方

10/30(日) 新しい古道の歩き方  
「熊野市紀和町の水車谷鉦山遺跡をゆく。」  
はるか昔から鉦山の町として栄えた熊野市紀和町楊枝地区に文化財として残されている「水車谷鉦山遺跡」をガイドとともに歩きます。熊野の山を歩きながら、長く産業を支えた古の人々の暮らしが想像できるツアーです。  
◇時間:午前9時~12時  
◇参加料:500円(保険料を含む)  
◇定員:20名(要申込、先着順)  
◇場所:熊野市紀和町楊枝地区  
◇講師:福角晏次氏(熊野市文化財専門委員)



\*写真・イラストはイメージです。